



2024年3月28日

各位

上場会社名 株式会社ダブルエー
代表者名 代表取締役 肖 俊偉
(コード番号：7683 東証グロース)
問合せ先 取締役 丁 蘊
(TEL.03-5423-3601)

2024年1月期 決算に関する質疑応答集

この質疑応答集は、2024年3月15日に発表しました2024年1月期決算について、当社で想定していました質問と株主、投資家などの方々との質疑応答の主なものをまとめております。なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。

決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料、中期経営計画資料をご覧ください。

Q1：2024年1月期は大幅増収増益と大変好調でしたが、その要因を教えてください。

A：ダブルエー単体につきましては、既存店およびオンライン販売において好調でした。また3月1日に吸収合併した婦人服ブランド「MISCH MASCH」の売上が追加されたことも増収の要因となっております。子会社の卑弥呼につきましては、店舗数は昨年から変化はありませんが、既存店およびオンライン販売、さらにテレビ通販のショップチャンネルにおいて売上が大幅に伸びました。以上のことが利益の増加に大きく寄与し大幅増収増益となりました。

Q2：初期予想は達成ですが修正予想に達しなかった理由を教えてください。

A：1つ目の要因が円安になります。既存店の売上が好調であったことや、MISCH MASCHの夏のセールも好調だったことなどから修正予想を組み立てました。中期経営計画策定時の為替レートは130円台前半で推移しており、修正予想策定時の為替相場は若干の円安基調であったものの、金融機関等の為替相場の見通しを参考にし、修正予想の為替レートは期首予想時点の前提から変更いたしませんでした。しかしながら、修正予想発表後も円安が続き、為替相場は150円前後で推移した結果、仕入価格に影響を及ぼしました。

2つ目の要因は暖冬になります。秋以降、気温の高い日が続き秋冬物の売れ行きが軟調でした。靴に関しましては、過去の経験から対策を講じ、ある程度影響を緩和することができましたが、洋服に関しては単価の高い重衣料の本格的な稼働がセール時期にずれ込みました。1月になり冬らしい天候の日が多くなってからは売れ行きも好調となり、売上高については修正予想をほぼ達成できることができました。

た。

このように円安と暖冬の影響によって修正予想未達となりました。今後は、利益計画の精度を高め、よりの確な業績予想を行うよう努めてまいります。

Q3：2025年1月期の利益予想をみると中期経営計画で出されている2026年1月期の営業利益40億円までのギャップがあるように思います。中期経営計画の数値目標の達成に向けてどのようにお考えでしょうか。

A：中期経営計画は、為替レートを135円で策定しましたが、2025年1月期は150円を前提として予想を出しております。2026年1月期につきましては、為替相場の変動の影響は流動的で現在の円安水準がこのまま続くかは不透明な状況です。2025年1月期は150円の為替を前提としても確実に予想達成できるように努めて参ります。現在の円安の状況でも確実に利益達成できるような体制を構築することで、競争力が高まるものと考えております。

また、中期経営計画の達成のためには、4つの成長戦略を着実に実行していくことが肝要であると考えております。具体的には、オンラインストアの拡充により、固定費を抑えながら売上高を伸ばしていくとともに、利益率の高い高価格帯ブランド（卑弥呼）や中価格帯ブランド（NICAL）のブランド力や商品力の強化、黒字化を達成したアパレル事業の更なる強化及び為替相場の影響を比較的受けない海外事業を推進してまいります。

Q4：2025年1月期の業績予想について、売上高、営業利益が大幅増収増益となる理由を教えてください。

A：2025年1月期の売上高につきましては、これまで取り組んできた4つの成長戦略を着実に実行していくとともに、計画している新規出店などにより、売上高10.5%増を計画しております。営業利益につきましては、既存店の売上増加およびオンライン販売率の増加により販管費比率が下がる想定で、営業利益35.0%増の計画となります。

Q5：MISCH MASCHを事業買収後1年以内で黒字化できたとのことですが、黒字化できた成功要因を教えてください。

A：MISCH MASCH事業の買収後、まずはリブランドに取り組み、ブランドイメージを刷新し、トレンドを捉えた商品提案を行うことで新たな顧客層を獲得しました。また、商品の生産・販売体制を見直すことで、売れ筋商品を捉えタイムリーに投入し販売機会を逃さない商品提供が可能となりました。さらに、オンラインストアとアプリをリニューアルし、顧客の利便性を高め、オンライン販売の強化に努めました。

以上の施策を着実に実行したことで、黒字化を達成することができました。

<ご参考>

- ・2024 年1月期決算短信〔日本基準〕(連結) 2024 年3月15日公表
- ・2024 年1月期決算補足説明資料 2024 年 3月21日公表
- ・中期経営計画 2023 年 6月14日公表

以上

免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2024 年3月21日公表の2024 年1月期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。